

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

<p>学校名</p>	<p>伊万里市立東山代小学校</p>				
<p>1 前年度 評価結果の概要</p>	<p>・小中連携による学力向上推進2年目として、児童が主体的に学習するための授業づくりを具体的目標に掲げ、学び合いを軸とした授業づくりやAIドリルの効果的な活用など、児童の学習意欲を高めることに力を入れた。教職員のマイプランでの成果目標は80%を超え、児童のアンケートでの算数に対する肯定的回答も80%は超えているものの、苦手意識のある児童があまり減っていないことが課題である。</p> <p>・「心の教育」や「健康・体づくり」については特別支援教育と支持的風土を基盤にした学級づくりを大切にして教育活動を実践し、概ねアンケートでの目標を達成した。高学年児童は落ち着いて過ごすことができたが、コロナ禍の影響や家庭環境による精神的な不調のため不登校児童が増えた。また、登校時から落ち着かず、授業中座っておけない低学年児童が増えた。児童や家庭への支援を、SSWやSC、子育て支援課等の児童福祉専門機関と連携し継続していく必要性を強く感じた。</p> <p>・キャリア教育については、県の取組へ参加したり地域協力隊の方や民生委員の方に協力していただいたりするなど、ボランティア活動や児童が将来への夢や希望をもつための学習機会を昨年度より多く設定することができた。</p>				
<p>2 学校教育目標</p>	<p>思いやりの心もち、学ぼうとする意欲のある たくましい児童の育成 ～ 明るいあいさつ・みんな仲良く・文武精いっぱい・話の聞き方日本一 ～</p>				
<p>3 本年度の重点目標</p>	<p>①学ぶ力の向上：やる気を引き出す指導の工夫 家庭学習の習慣化 基礎基本の定着 読書の推進 ②豊かな心の育成：自己有用感を育む学級経営 心をゆさぶる道徳教育 感動体験活動 郷土愛を育む活動 ③健やかな体の育成：体育の充実と運動の生活化 仲間づくり 保健指導の充実と食育の推進</p>				
<p>4 重点取組内容・成果指標</p>	<p>(1) 共通評価項目</p>				
<p>●学力の向上</p> <p>●心の教育</p> <p>●健康・体づくり</p> <p>●業務改善・教職員の働き方改革の推進</p>	<p>重点取組</p> <p>取組内容</p> <p>○児童全員が主体的に参加するような授業の実践</p> <p>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</p> <p>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</p> <p>●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。</p> <p>●「望ましい生活習慣の形成」</p> <p>○「安全に関する資質・能力の育成」</p> <p>●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減</p>	<p>成果指標 (数値目標)</p> <p>○アンケートで肯定的な回答をした児童の割合80%以上</p> <p>○校内や学級での生活アンケートで公的的な回答をした児童の割合80%以上</p> <p>○いじめ防止等(防止のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上</p> <p>●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上</p> <p>●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上</p> <p>○「早寝・早起き・朝ごはん」を奨励し、保護者アンケートの結果で、肯定的回答の割合を90%以上にすることをめざす。</p> <p>○交通安全を防ぐとともに、性に関する指導の授業を発達段階に考慮して行う。</p> <p>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</p>	<p>具体的取組</p> <p>・個別最適な学びと、協働的な学びのある授業づくりの工夫を図る。</p> <p>・児童の実態把握に関するアンケートを実施する。 ・道徳教育や特別支援教育についての理解を深める研修を実施する。</p> <p>・心のアンケートを実施し、児童の実態把握といじめの早期発見を行う。 ・気になる児童についての情報共有を行うとともに、毎月情報交換会を実施する。</p> <p>・6年間を通して、地域ボランティアや各講師を招いて様々な体験活動を実施する。 ・児童による活動の見通しと学びの振り返りを充実させる。</p> <p>・学活や家庭科の授業を通して望ましい生活習慣の大切さを理解させる。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の励行を児童と保護者に引き続き啓発する。</p> <p>・交通安全教室や避難訓練を行い、事故防止の意識を高める。 ・「性に関する年間指導計画」に基づき、全学年で性教育を行う。</p> <p>・定時退勤推進日を設定する。 ・学校閉庁日を設定する。 ・繁忙期とそうではない時期を明確にし、年間を通し、軽重を付けた働き方を行う。</p>	<p>主な担当者</p> <p>・学力向上対策コーディネーター ・研究主任</p> <p>・道徳教育推進教員 ・特別支援コーディネーター</p> <p>・教育相談担当 ・生徒指導担当</p> <p>・教務主任</p> <p>・養護教諭 ・栄養教諭</p> <p>・生徒指導担当 ・養護教諭</p> <p>・教頭 ・業務改善委員会</p>	
<p>(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目</p>	<p>○教職員の資質向上</p> <p>○開かれた学校づくり コミュニティ・スクール</p>	<p>重点取組</p> <p>重点取組内容</p> <p>○教職員の授業力向上</p> <p>○地域と連携した体験活動の推進 ○積極的な情報発信</p>	<p>成果指標 (数値目標)</p> <p>○児童アンケートで「授業が楽しい」と肯定的回答の割合を85%以上、保護者アンケートで「授業を工夫している」の肯定的回答の割合を80%以上にすることを指す。</p> <p>○地域の人材を活用した体験活動を通して、地域との連携を進める。 ○アンケートで肯定的な回答をした保護者の割合70%以上</p>	<p>具体的取組</p> <p>・職員同士が切磋琢磨できる環境づくりとして、相互授業参観ができるシステムを設定する。 ・学年やグループ間の連携を図り、授業づくりについて日ごろから相談しやすい環境づくりを行う。</p> <p>・コミュニティーセンターや地域人材と連携し、体験活動の充実を図る。 ・学校だよりや懇談会等を活用し、学校の取組について知らせる機会を設ける。</p>	<p>主な担当者</p> <p>・学力向上対策コーディネーター ・研究主任</p> <p>・教務主任 ・教頭</p>
<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</p>					
<p>5 総合評価・ 次年度への展望</p>	<p>・ ・ ・</p>				